

第八十八回

女流名家舞踊大会



女流名家舞踊大会

平成 25 年 2 月 16 日 (土)~17 日 (日)

両日 11 時開演

三宅坂 国立劇場 (大劇場)

主催 東京新聞

ごあいさつ

本日はご来場下さいまして誠にありがとうございます。

東京新聞が主催いたします「女流名家舞踊大会」は昭和二十一年二月八日、日比谷公会堂で第一回の幕を上げて以来、年二回・各一日の公演を主に同公会堂で重ねました。

第四十回記念公演は昭和四十一年六月東宝劇場にて開催、日比谷公会堂での開催は同年第四十一回秋の公演をもって終止符をうつこととなりました。

翌年には、竣工なった国立劇場に舞台を移すと共に、年一回二日間の開催を続け、本日八十八回を迎えることが出来ました。

これは、ひとえにご出演いただきました舞踊家の皆様、大会を支えて下さいました関係各位、そしてなによりも、ご来場いただきましたお客様のご支援によるものであり、ここに厚く御礼申し上げます。

東京新聞は、今後も「女流名家舞踊大会」及び昭和四十年発足の「推薦名流舞踊大会」を通じ、舞踊界の更なる発展に貢献する所存です。

さて、このたびの公演には、二十流派から家元・重鎮や気鋭の若手など四十七人にご出演いただきます。豪華で多彩な演目を、どうぞ最後までごゆっくりとご鑑賞下さいますようお願い申し上げます。

平成二十五年二月

東京新聞